

全ての読者へ贈る
日本人の“誇り”!!

感涙35P!
大人気ノンフィクション
シリーズ連載!!

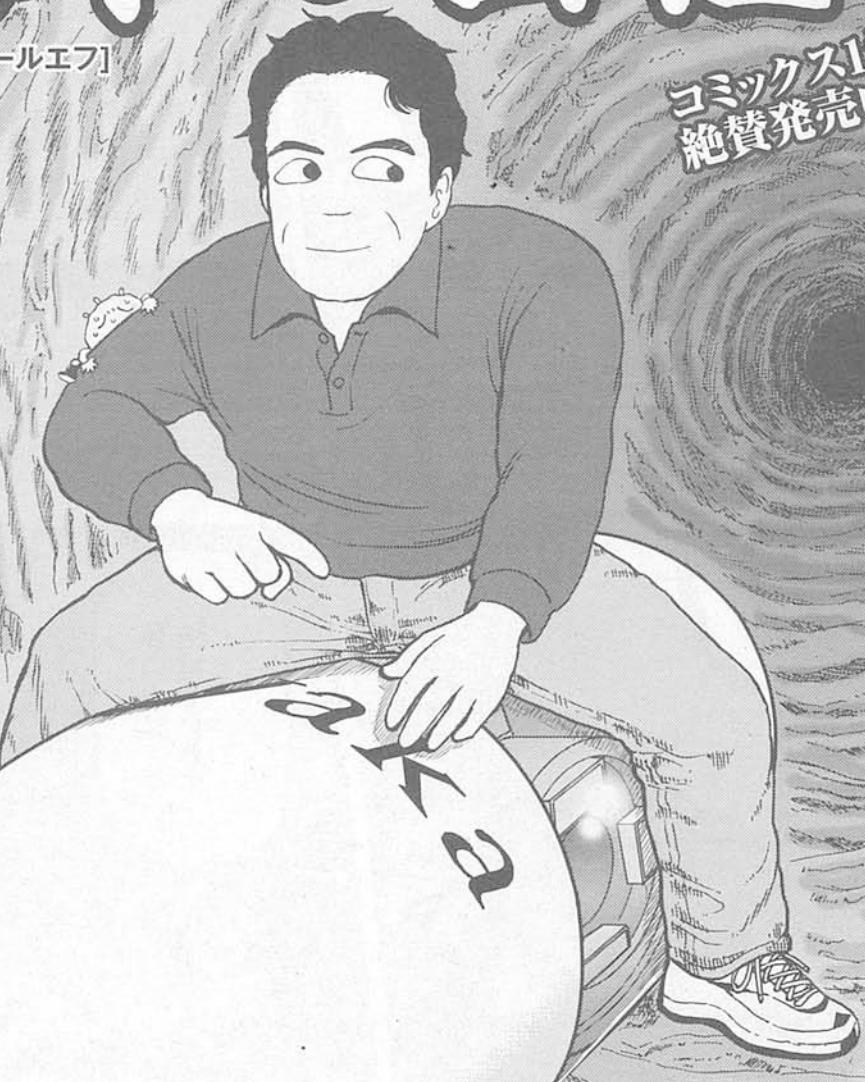
世界に大自慢したい 日本の会社

[株式会社アルエフ]



コミックス1巻
絶賛発売中!!

命を救うために
技術屋として生きる。



原作 坂本光司

「日本でいちばん大切にしたい会社2」あさ出版刊より

漫画 こせきこうじ

体の中の機械



おふくろ



機械

体の中に
機械をいれて

機械だ





そんな
少年時代の
悲愴な想い

少年だからこそ
感じた
切ないほどの
悔しい想い：



それが
半世紀近くの
歳月を経て

ながのしなかごしよおかだまち
長野市中御所岡田町3

医療用機器
産業用機器開発

製造
販売
募集中

アルエラ

2001年12月19日
開発の成功が発表された

この
『飲む内視鏡カメラ』
によつて実現…



『NORIKA』

カブセル内視鏡

NORIKA³

1947年(昭和22年)
長野県上田市生まれ

おふくろは…

丸山次郎さん
まるやまじろう
代表取締役社長

★この漫画は事実をもとに脚色・構成しています。



小学校3年生のときには
トランジスタラジオに
興味をもち

すでに部品を集め
ラジオをつくり

トランジスタ

地元では有名な
「ラジオ少年」
「機械少年」だった
丸山さん

声を使わなくとも
おふくろと
話ができる
ようになればなあ

ラジオの
原理を
利用して

咳がひどくて
話すのも
つらいうな時は

苦しいとか
痛いとか
決して言わなかつた
おかあさん

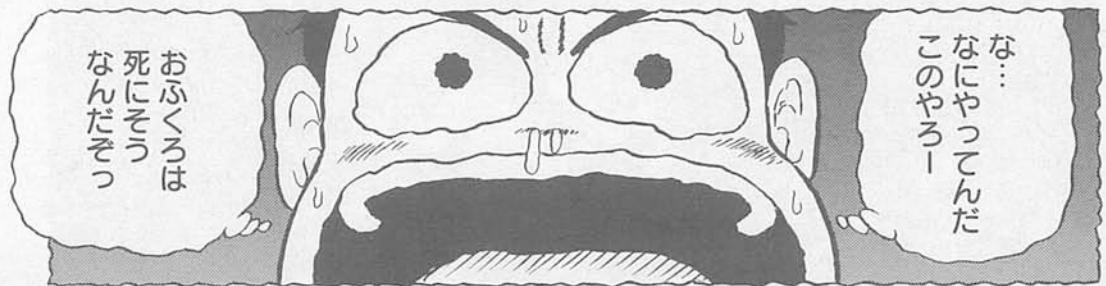
冬のある
寒い寒い日

いるのは
高校生の兄(9歳上)と
姉(8歳上)だけ

にいさん
お医者さんは!?

おとうさんは
遠くに出稼ぎに
でていて

おかあさんは
いつにない激しい発作に
息もできないほど
苦しみはじめ

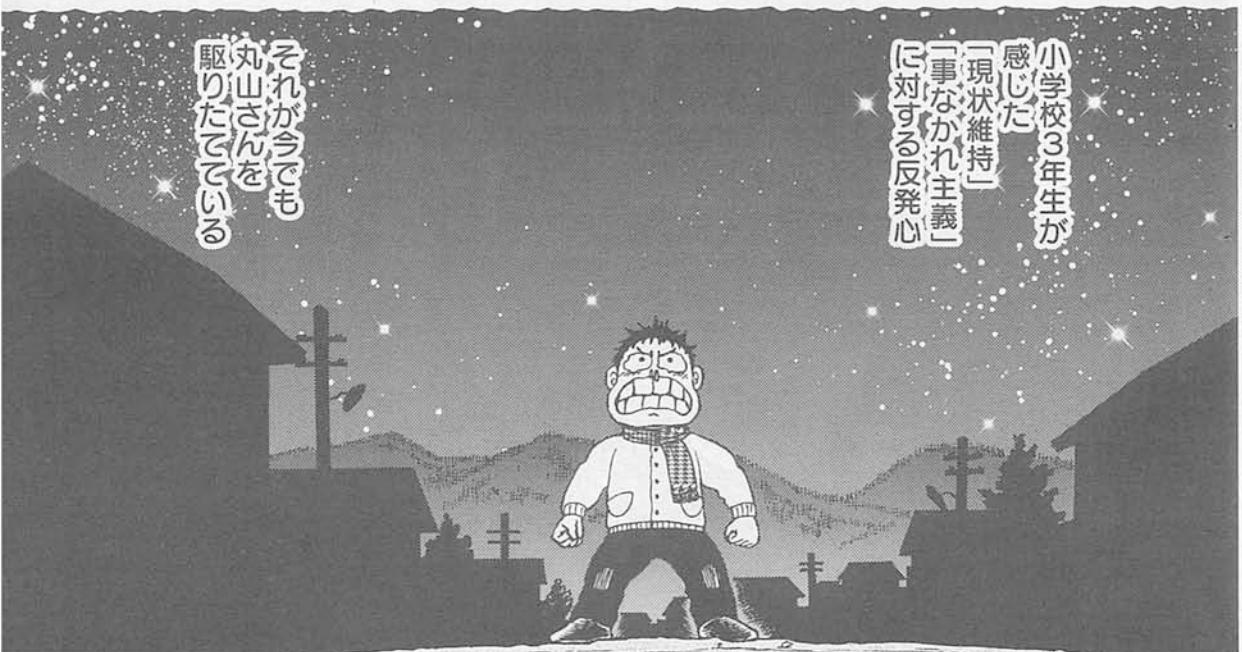


おふくろは
死にそう
なんだぞっ

な……
にやつてんだ
このやろー

それが今でも
丸山さんを
駆りたててている

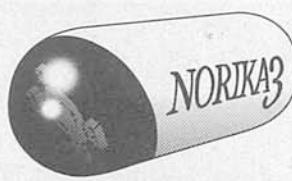
小学校3年生が
「現状維持」
に對する反発心
「事なかれ主義」
を感じた



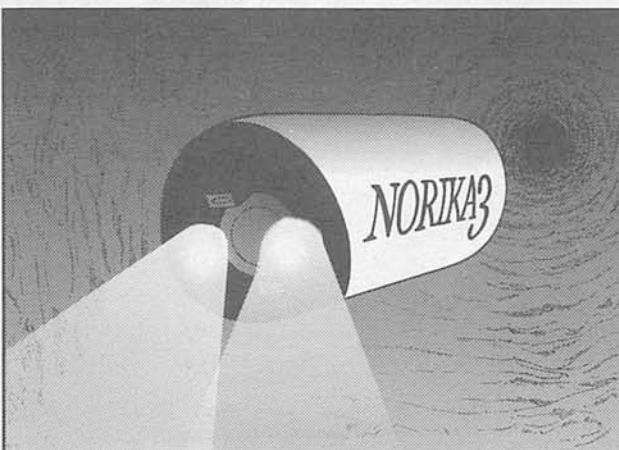
それが
時をへだてて
我々に
ヒシヒシと
伝わってくるの
です

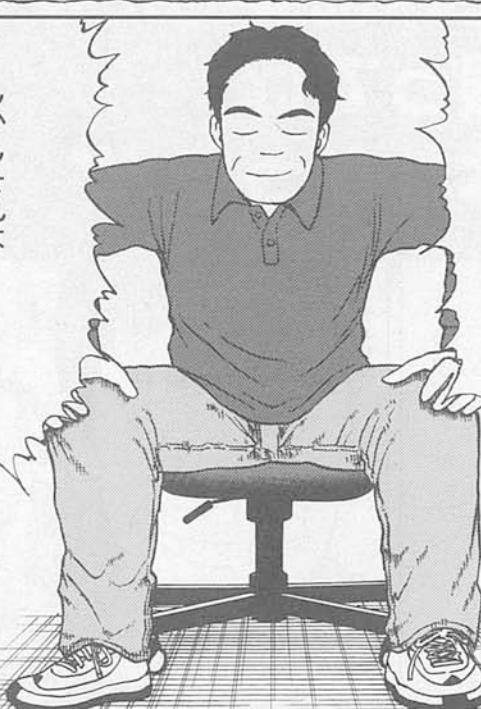
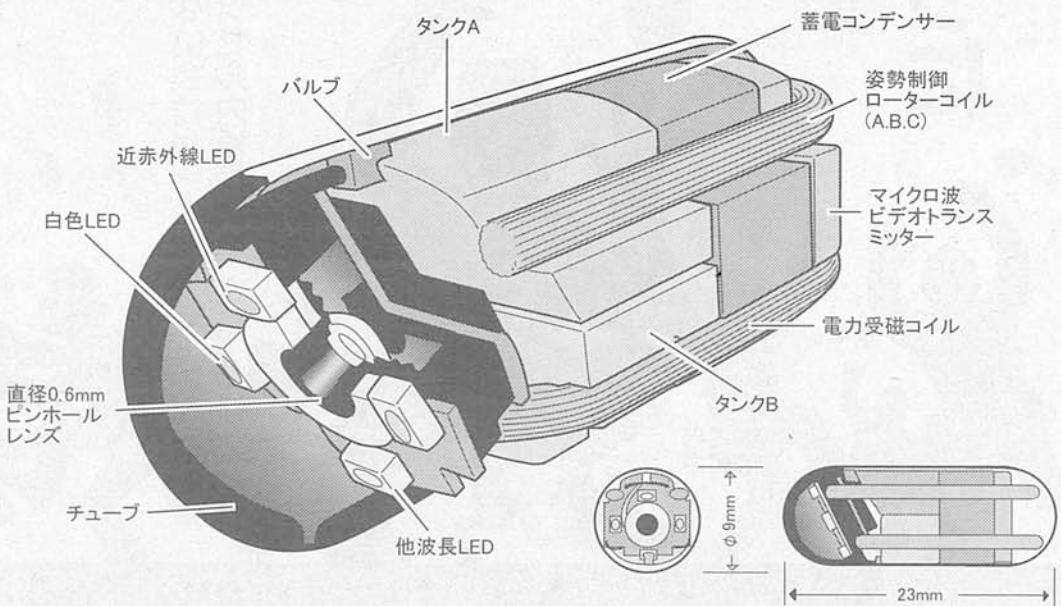
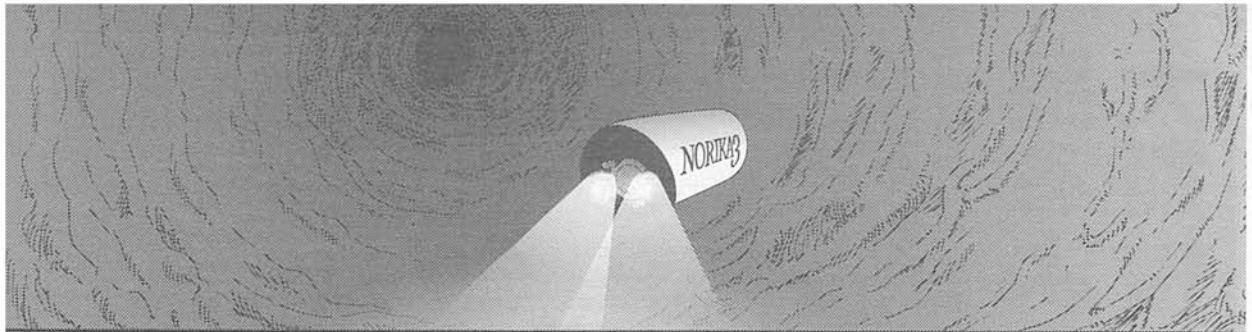
そして
あまりに
切実な願い
やるせない願い

おふくろの体の中に
飲む力ラジオ放送局とか
機械を入れて
外から体の中の
ようすが
わかればいいのに



NORIKAS





大驚愕 踊るように

そのわずか7か月後
当時まだ
社員が50人にもみたない会社が
バッテリーレスのカプセル内視鏡
『NORIKA』を
満を持して発表



ハリウッドの未来描写の映画は
ほとんど非現実的だが
今回に限っては
そうではなかった!!!

その映画とは
もちろん
あの…

…と
ある英字新聞が
報道

ミクロの決死圏

FANTASTIC VOYAGE

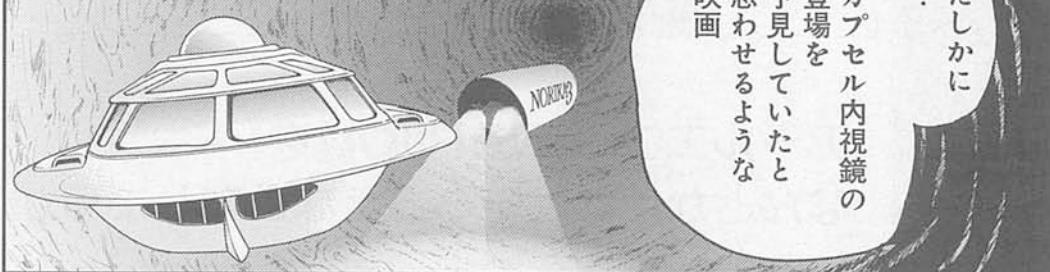
(1966年 監督リチャード・D・フライシャー)

すべてを縮小する技術で
小さくなつた医師たちが
潜水艇で人の体内を進み
体の内部から科学者を
治療する

ストーリー
物語

ブルーレイ発売中 ¥4,935(税込) 20世紀フォックス ホームエンターテイメント
©2013 Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC All Rights Reserved.

カプセル内視鏡の
登場を
予見していたと
思わせるような
映画
たしかに



こういうものを
創れるのが
日本人だ

親交の深かつた
小児科医の先生に
紹介していただいた
ソニーの大賀典雄
名誉会長さんは

大絶賛





アールエフの『NORIKA』を
なんとか使わせてもらえないでしょうか？



あの丸山少年の

切実さと 共通するものがある



医師
内視鏡体験者
その家族：

立場に違いはあつても
寄せられる熱い想いは
どれも一緒

早くカプセル内視鏡がほしい

その熱い
何かを……

そう
込み上げてくる
熱い何か：

その想いに
応えたい：

応えなければ



抑えることが できなくなつた





1962年(昭和37年)
長野工業高等専門学校入学

学生寮で
テレビをつくつて
売る

高額所得の
「高校生テレビ製造業者」に

1965年(昭和40年)
東海大学工学部入学

さらに
格安の「大学生テレビ
修理業者」にも

創業『アルエラ』

CCDカメラと無線の
研究開発を中心にしてた

1993年(平成5年)
奥さんの百合子さんとふたり
ワンルームマンションの一室で

富士通社員
フリーの技術コンサルタント
を経て

アルエラシステム研究所

アトランタオリンピック向け特注CCDカメラ
『AMR(アムロ) II』(1996年)

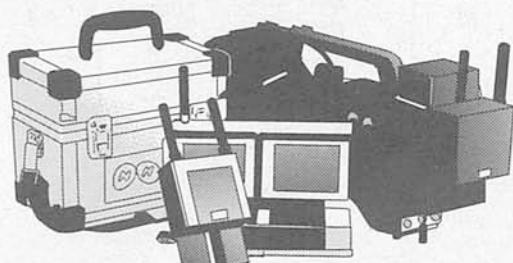
フィルムサイズのワイヤレスCCDカメラ
『CD-5C』(1993年)



NHKとの共同開発製品
『カメカメ君』(1998年)



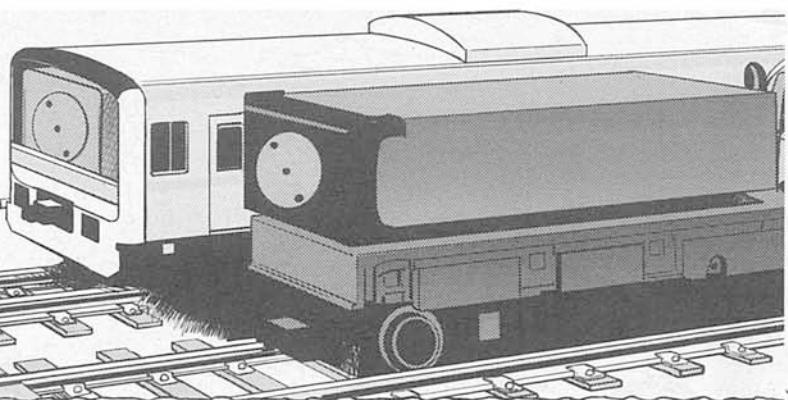
国際宇宙ステーション採用超小型CCDカメラ
『PRO-5』(1998年)



「トレインスコープ」

(1995年)

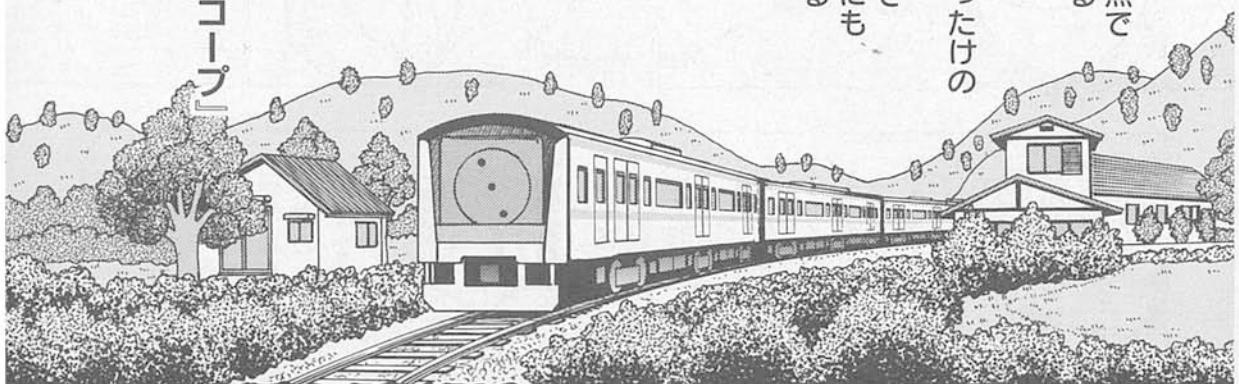
鉄道模型用
車載CCDカメラ



夢が搭載され
夢が走る
それが……

鐵道模型に首つたけの
人にとつては、
心が舞い踊つて
どうにもこうにも、
止まらなくなる

模型列車の視点で
風景が見られる



医療分野への進出へ向かって 走っていく

その煌々たる
大転機は：

これがやがて
「カブセル内視鏡」
などへと…



1996年(平成8年)

アメリカの歯科医師
マイケル吉田さんによつて
もたらされた

この
『トレインスコープ』
を見て
びびーんと
いいことを思い
ついたのです

この技術を応用して
『口腔内カメラ』
をつくってくださいつ

丸山さん

コウクウナイ
.....?

アメリカでは
カメラで映した
口腔内の歯の画像を
患者に見せながら
納得のいく
治療をする

ところがその
撮影装置の値段が
べらぼうに高い

さらに
カメラには長い
ケーブルがついて
いるので

なんという
熱き想い
そりやーもう
たいへんな重労働

おやすい
御用です

だから
この技術で
ワイヤレスの
口腔内カメラを

へー
そんな使い方が



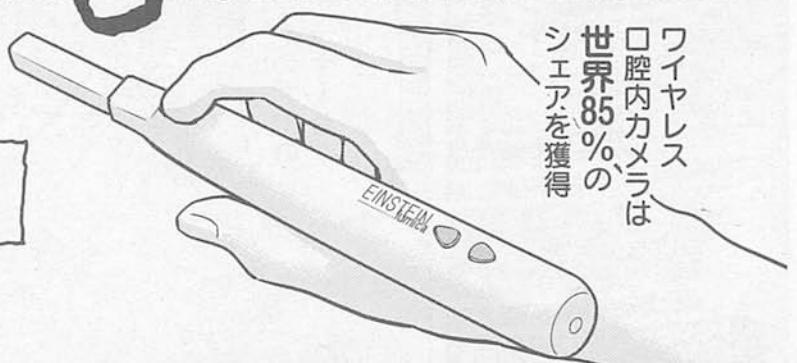
おやすくはなかつた



ワイヤレス口腔内カメラ
(1997年)



最新の口腔内カメラ
Emstain lumica



この
医療機器分野への
新規参入は

日本では
古い体質の医療業界の
熾烈な暴風雨に曝された
おそらくは
目先にとらわれ
広い視野と心を見失つて
しまつた一部の人々に
よつて……

それでも
あえて外に
出でていった
蓑や
雨合羽を
身に付ける
こともなく

『アールエフ』と
その社員の
暴風林となつた

なぜなら
揺るぎのない
確信があつたから

それは
最終的には
その機器を使う
医師や患者さん
たちが……

その文字の
示すとおり

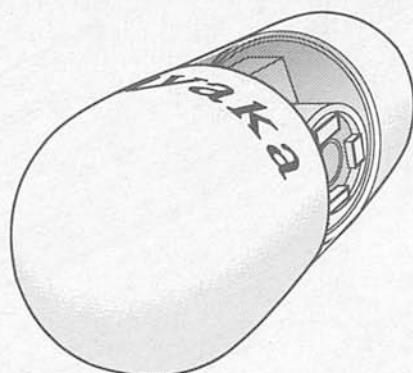
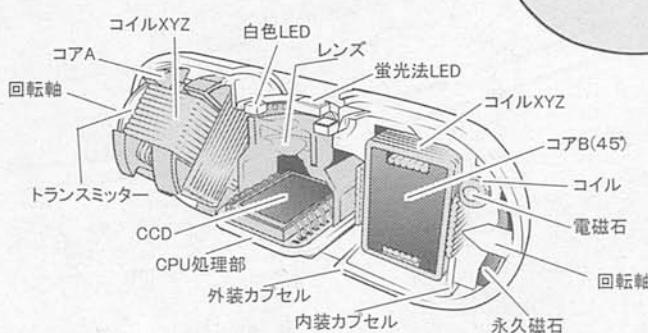
命を
かけるを
かけ
して



命

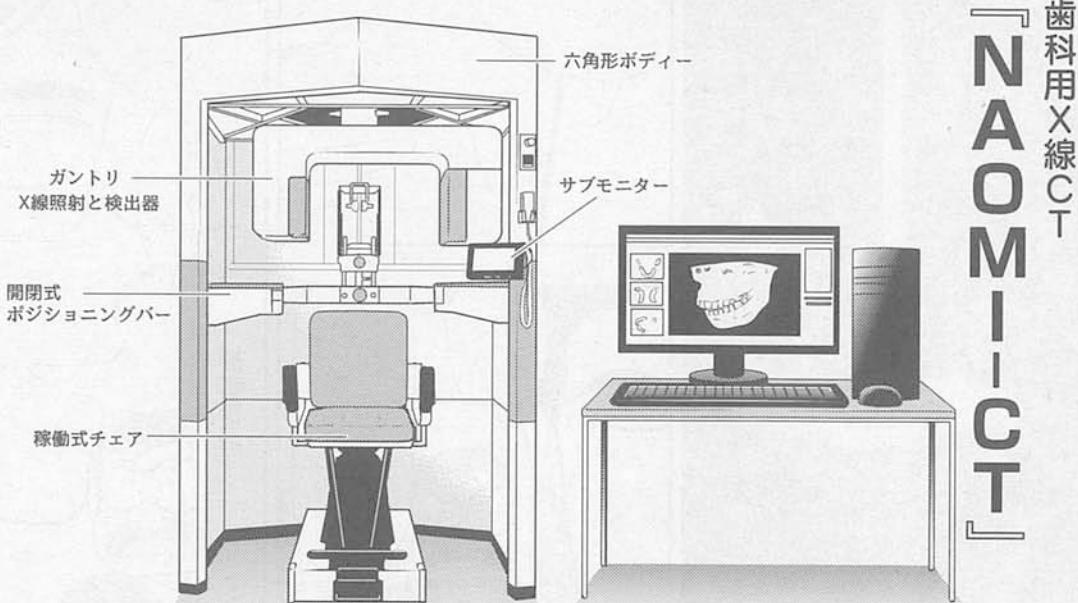
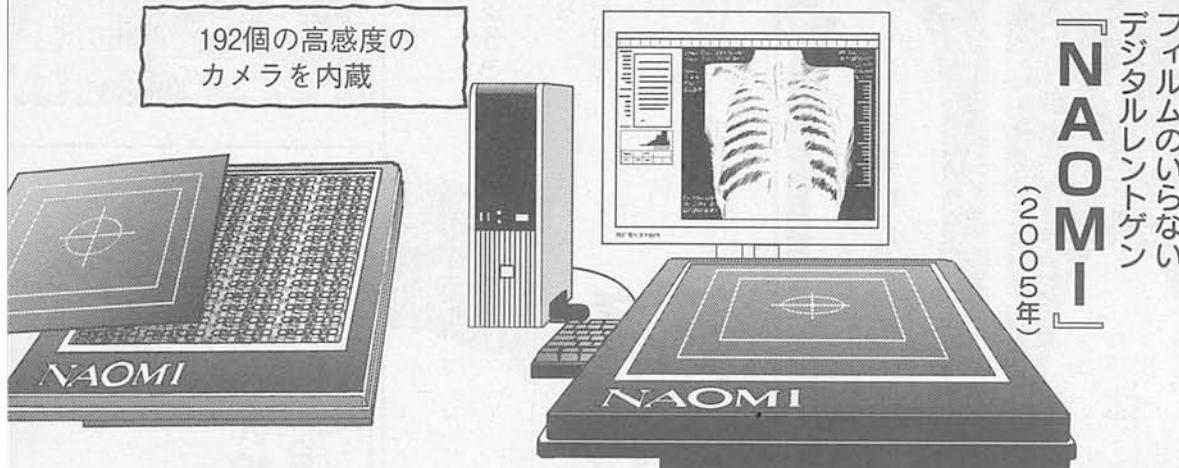


回転しながらの
侧面撮影方式で
今までの弱点を
解決



次世代カプセル内視鏡
Sayaka
(2005年)

1999年からX線センサーの研究を開始



※国内シェアNo.1を獲得。出荷台数は伸び続けている。

体に優しいX線

X-Ray

きれいなX線

X-Ray

純粹で

クレストパス スペクトル抽出法

X線の
体に有害な成分を
カットして
診断に必要な
スペクトルだけを
取り出す

なんと
いつでも
画期的な
のは

X線照射による
被曝量が非常に少ない

という点

被曝量が…



「人に優しいきれいなX線」
という研究テーマを掲げたのは
2010年12月

そして
その翌年…

そう
2011年
3月11日

われわれの
新たな
X線研究テーマ
は…

生命を守るX線

特許を
とらない

アールエフ





新しい技術が出てくる

結果として

競いあわなければ
ならなくなり

技術開発で
ライバルが出てくると

技術の
囲い込みは
長期的には
利益の確保には
ならない

新しい技術開発には
ライバルが必要



*アールエフのテレビCMキャラクター SUKIYAKI NINJA

それは

丸山さんの
語録の中に
よくあらわれて
いると思います
……



「世の中にはスゴい奴がいっぱいいる
勝てるわけがない」

実はそうでもなく
やつてみれば世界初だつたと
いうこともある

研究成果は投げる
金額の大きさではない

研究者ひとりひとりが
持っている
「何か違うものを
つくつてみせる」
というエネルギー
というか

夢と情熱である

できないと思つたら無理
だから『やりましょう』という

自分で自分を
追い込んだとき
初めて知恵が出てくる

ユーザーのリクエストに
「ノー」と言わず
知恵をしぼる

考えられる限りの知恵をしぼる
世の中にはまだ存在していないし
誰も手をつけていないものを
つくるのだから

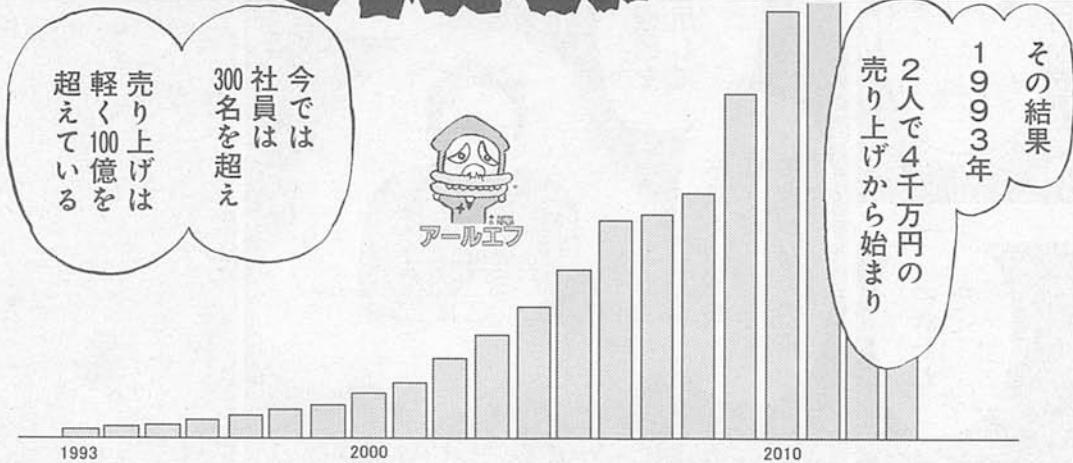
このゾクゾクが
やみつきになる



夢と情熱が
あれば……

たった一滴の
泥水のような
知恵でも…





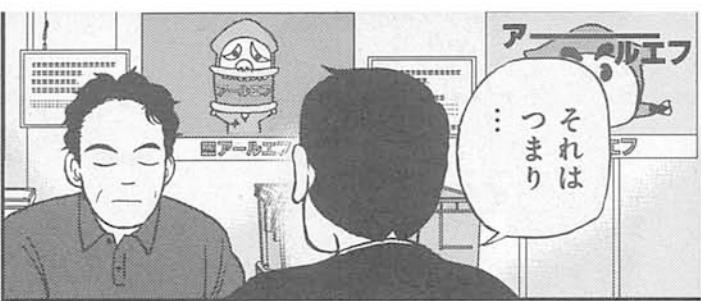
長野に医療の大学院大学をつくる

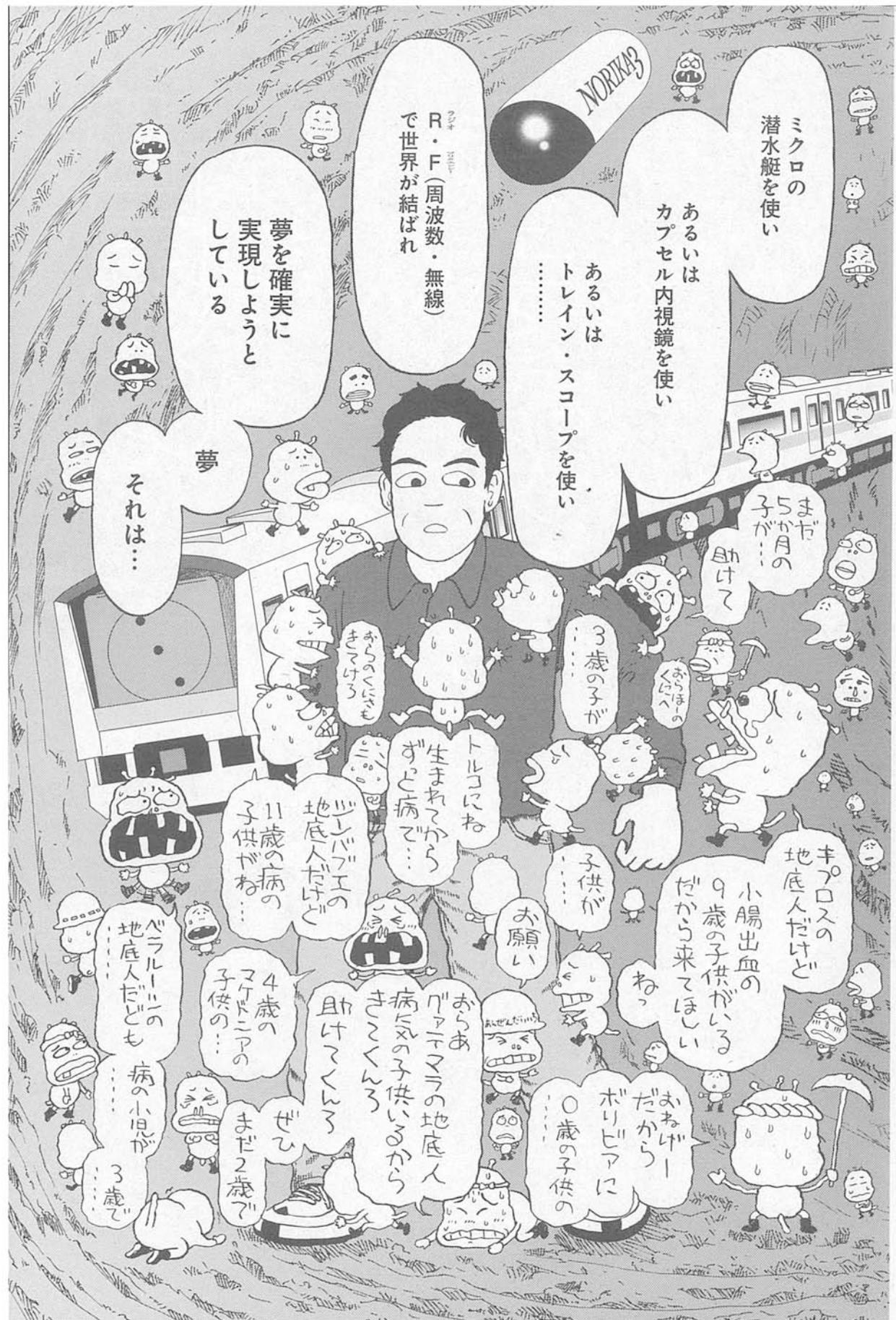


『技術屋』としての使命

つくればいい







世界の

小さな
命を



め
ひ
た
ひ

日本の誇り第17号と認定する



